

株式会社ジェイコム東京 江戸川局
放送番組審議会 議事録

令和 2 年度放送番組審議会委員会は、令和 3 年 3 月 26 日（金）にタワーホール船堀で開催された。

<放送番組審議会委員>

■ご出席

池田 絵里 様 嶋原 和行 様 関口 政男 様
田森 健志 様 深井 進 様 茂呂 昌利 様

■ご欠席

原野 大輝 様

<審議会会長選任>

会長に深井委員を選任した。

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき報告があった。

<審議：質疑応答>（深井会長による進行）

【地域情報番組について】

委員：消防団の代表として委員会に参加しているが、今年消防団はほとんど活動できず、非常に歯がゆい思いをした 1 年だった。オリンピックについては、観客もどうなるか分からない状況ではあるが、消防団として 30 人ぐらいは警備のメンバーとして入っているので、警備の様子など、ぜひ取材してほしい。

事業者：オリンピック競技自体の取材はできませんが、それ以外の取材についてはぜひ対応したいと考えています。

委員：聖火リレーなどの放送予定はあるのか。

事業者：オリンピック組織委員会から提供された素材を使用して放送することになると思いますが、ぜひ放送したいと考えています。独自取材ができるエリアもあると思いますので、撮影できたものは放送していく予定です。

委員：「つながるニュース」で江戸川区防災訓練の様子が出ていたが、あれはいつ収録したのか？毎年町会として訓練に参加していたが、今年は召集がなかったので・・・。

事業者：今年は 11 月 19 日に訓練が実施されました。今年もその様子を収録し、「つながるニュース」で放送しました。そのほか、今年は当社も訓練の一環として、朝 9 時に防災訓練を実施している旨を L 字で流し、訓練と同期を取った放送を実施しました。

委員：オリンピックに関しては、先行きが不透明であり、計画だけが進んでいるという印象があり、どういう風に参加したらよいかわからない人が大半だと思う。地域のメディアとして、現状やこれからの方向性を深掘りし、地域が明るくなるような情報を提供してほしい。また、学童少年野球については決勝戦を「江戸川元気パラダイス」で放送していたが、それまでの予選などは取材したのか？

事業者：大会が始まったことについては「つながるニュース」で取り上げましたが、コロナの影響で試合が非常に短期間だったこと、また、少年野球連盟との協議により今年は決勝戦だけを取り上げることになりました。例年は特番を放送し、全チームの紹介なども行っていますが、今年はそれができず、私たちも心残りであります。

委員：江戸川区は少年サッカーも盛んだが、それ以上に野球で有名なエリア。野球は地域をつなげることができる重要な素材であるため、きめ細かく取材してもらえると、地域のコミュニケーションが活発になる。また、小学生が成長し、高校野球へとつながるため、高校野球では出身中学の表示だけでなく、小学生の時の所属チームなども放送してもらえると、非常に盛り上がると思うし、視聴者も喜ぶのではないかな。

事業者：非常に貴重なご意見で、改善できるかどうか含め社内でも検討させていただければと思います。

委員：区の広報としても今年 1 年はイベントなどもほぼ中止という状況で、情報が限られており、お互い厳しい年だったのではないかと考えている。「江戸川 家ごはん」は今も継続しているコンテンツか？産業振興課でデリバリー情報などを提供しているので、うまく連携できると良いと思う。高校野球はマルチ画面の使用など、民放との差別化を図るという点ではとても良い取り組みと思う。

事業者：「江戸川 家ごはん」は 5 月～6 月の放送でしたが、また再開する場合は連携していきたいと思います。

委員：「えどがわ人図鑑」についてダイジェスト版だったせいかもしれないが、対談している画だけだったような気がしたが・・・。

事業者：番組では、画像を入れ込むなど対応をしているが、目線が変わったり、飽きが来ないようにものを取り入れるなど、より楽しんでいただけるような工夫をしていきたい。

委員：歴史が好きなので、「歴史を歩く」は内容が素晴らしいと思う。こういう番組をたくさん作ってほしい。

事業者：貴重なご意見ありがとうございます。

委員：「えどがわ人図鑑」MC の松崎さんは江戸川区在住という事だが、一般の人が並ぶとどうしても松崎さんにだけ目が行ってしまう。江戸川区内の人にスポットを当てるなら、主婦の人などにインタビュアーとして出ていただいても良いのではないかな？

事業者：貴重なご意見ありがとうございます。

【情報提供の内容について】

委員：世の中、これだけコンテンツがあふれていると、みなさん自分が必要とする情報しか入手しないのではないかな。コロナの情報などは、感染人数はこの放送局も放送しているが、コロナの副作用で

味覚が数か月たっても戻らない・・といった情報はあまり放送されず、自分で探しにいかないと情報を得ることができない。J:COM もいろいろ情報提供しているが、コロナの後のこと、オリンピックの後のことなどいろいろ伝えるべきことはあると思うので、そういった調べなければわからない情報などを放送してくれると良いと思う。

事業者：貴重なご意見ありがとうございました。

【若者のテレビ離れについて】

委員：毎年番組を見ていて思うことは J:COM は地域密着で、地域のハブになっているということ。長く住んでいても知らないことはたくさんあり、そういうことを教えてくれるのが地域のチャンネルである J:COM だと思っている。いつも楽しく見ているが、最近の傾向として子供は YouTube ばかり見ている、テレビを見ない。コミチャンは若手にリーチしていないのでは？と思うが、それをどう思っているのか、どういう対策をとっているのか、お聞きたい。J:COM モバイルなどから情報がくれば若い子も見るのはないか？

事業者：貴重なご意見ありがとうございました。J:COM では新規のアプリを開発し、私たちがスーパーアプリと呼んでいる「MY J:COM アプリ」というものがあります。このアプリはテレビ放送ともリンクしていますし、地域情報アプリ「ど・ろーかる」との連携もこのスーパーアプリで対応でき、コミチャンと連携ができるアプリという位置づけです。このスーパーアプリは続々と更新されていきますが、もっと良いものをご提供したいと私たち事業者側も考えている状況でございます。

また、放送している「つながるニュース」「えどがわ人図鑑」はアプリ「ど・ろーかる」で視聴可能ですが、これまでは誰でも気軽に番組をみられる環境にはありませんでした。このように、「ど・ろーかる」アプリで番組を見ることができるのは改善の一步として考えています。また、「えどがわ人図鑑」については YouTube でも視聴可能であり、「江戸川元気パラダイス」も、同様にアプリや YouTube で視聴できるようにしていきたいと考えていますが、出演者との契約が現在そのような対応になっていないため、協議を進め、どなたでも見られるような状態にしていきたいと考えております。区内においては、ケーブルでは 63%しかつながっておりませんので、区民の皆さん 100%、120%の方に見ていただくためにはいろいろなデバイスで放送していくことは必要不可欠だと考えております。ここは事業者の課題として解決していきたいと考えています。

【災害時の対応について】

委員：一昨年台風 19 号の時にエフエム江戸川が 24 時間生放送を実施した。今、何がそこで起きているのかをテーマに、キャスターが各家庭や事業者に電話をつないでリポートしていた。実は私も電話取材に答えたが、その番組はとても反響が良かったとの事。J:COM もテレビで情報提供しているが、こういう形の放送も考えてもらえたらよいのではないか。

事業者：貴重な意見ありがとうございました。放送という形で情報提供していましたが、エリア毎にアカウントがあるツイッターも活用し、情報提供をしておりました。こういった状況の時は細かいエリアごとの情報が生きてくると思いますので、いろいろな媒体で情報を提供していきたいと考えています。

また、今、ご指摘いただいた部分はJ:COM全社で強化していく部分と認識しています。コロナ禍で取材に出ることができなかった期間は、メールや電話など、たくさんの方からご連絡先をいただき、その情報をもとに文字情報やL字として情報を提供することができました。いただいたご連絡先は、これからの有事の時に生きてくと思いますので、改めて良い形で活用し、情報発信に努めていきたいと考えています。

<閉会>（事務局）

本日は長時間、2020年度番組審議会にご参加いただき、闊達なご意見もいただきまして、誠にありがとうございました。いただきましたご意見は良い番組作りに活かしていくとともに、災害時に区民のみなさまをサポートできる災害に強いコミュニティチャンネルを目指して参ります。

以 上